

資料1 令和9年度予算編成方針について



- 1 財政見通し
- 2 予算編成方針
- 3 予算要求基準について
- 4 予算編成スケジュール

令和9年度予算編成方針について

1 令和9年度 財政見通し

【歳入】

- 市税は、所得の拡大により個人市民税の増収が見込まれる一方、3年に一度の固定資産税の評価替えによる減収の影響もあり、市税全体では令和8年度から若干の増収
- 国の地方財政収支の仮試算では、社会保障関係費や人件費の増加、物価上昇等が見込まれる中、地方の安定的な財政運営に必要な地方交付税を含む一般財源の総額について、令和8年度と実質的に同水準を確保

【歳出】

- 総合計画の実施計画事業に必要な経費に加え、公共施設の維持・更新費用や、こども施策の拡充等に伴う社会保障関係費の増加のほか、継続する物価高や賃金、金利の上昇が歳出総額を押し上げる

▶ 厳しい財政状況の中での予算編成となる見通し

2 令和9年度 予算編成方針

基本方針

第3次総合計画の将来像

「いろいろ ひろがる ムズムズ射水」

の実現に向け、**健全財政を堅持**しながら、
主要施策の着実な推進を図る。市民の幸せ
の実現市勢の持続的な
伸展

(1)エビデンスに基づく事業の選択と集中

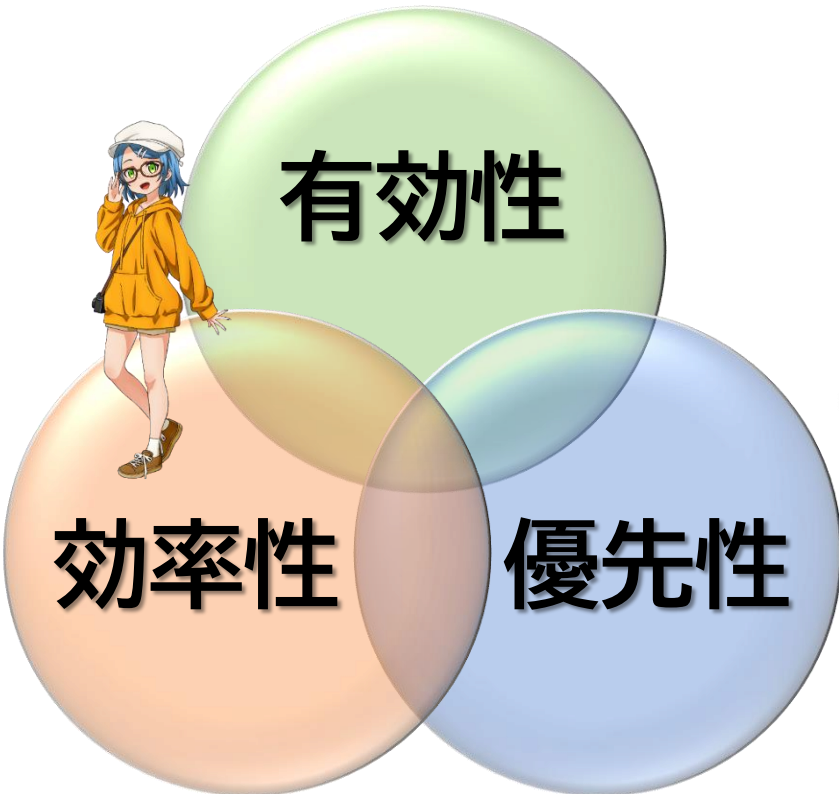
(2)横断的かつ戦略的な施策の展開

(3)予算の重点化と優先順位付け



2 令和9年度 予算編成方針

(1) エビデンスに基づく事業の選択と集中



有効性

効率性

優先性

10年後、20年後の未来の姿をイメージし、
「守るべきものは守り、変えるべきものは変える」
という強い信念のもと、

- 全ての事業について、有効性、効率性、優先性等の観点から費用対効果を検証
- エビデンス（合理的根拠）に基づく事業の選択と集中の実施



政策効果の高い事業への予算の重点化・優先化

2 令和9年度 予算編成方針

(2) 横断的かつ戦略的な施策の展開

社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応しつつ、持続可能な行財政運営を図る。

総合計画

4つの共通の視点

- ★インクルージョンの推進
- ★ニューノーマルへの適応
- ★地方創生の推進
- ★DXの活用による市民生活の向上及び行政の効率化

- 多様な主体との協働・共創のまちづくり
- 公民連携やA X・D Xの推進による市民サービスの維持・向上
- 人的・財政的資源の最適化をはじめとする行財政改革



政策の体系を超えた横断的かつ戦略的な施策にチャレンジ

令和9年度予算編成方針について

2 令和9年度 予算編成方針

(3) 予算の重点配分と優先順位付け

優先課題や社会情勢を踏まえた政策効果の高い未来志向型の取組への予算の重点化を図るため、予算要求に係る特別枠を設置

① 子どもや若者が将来に夢を持って健やかに成長し、子どもを産み育てたいという希望を叶え、『子育てするなら射水市』を実感できる

「結婚・出産・子育て・学びの環境づくり」

② 若者や女性を含む誰もが個性や能力を生かして活躍できる雇用の創出と産業の振興など、強い地域経済を実現する

「地域のしごとづくり」

「いみず未来投資特別枠」

人口減少対策と地域の成長につながる未来への投資

③ 防災・減災対策の強化や強靱な都市基盤の整備など、将来の自然災害リスクを軽減し、

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」

④ 地域への愛着や魅力を高め、交流人口や関係人口の創出を図り地域との結びつきを強める

「人が行き交う持続可能なまちづくり」



令和9年度予算編成方針について

3 令和9年度 予算要求基準について

一律のシーリングは実施しない

(1) 義務的経費（法令や契約で義務付けられた経費（人件費、扶助費、公債費等））
積算単価等の確認と精査を行い、適切に所要額を要求

(2) 経常的経費（行政サービスを維持するための経費（物件費、維持補修費、補助費等））
物価高騰や賃金上昇等の影響を適切に反映しつつ、事業内容の見直し等による経費縮減を図り、令和8年度当初予算額（一般財源ベース）を参考に、真に必要な経費を要求

(3) 政策的経費（政策判断に基づく事業に要する経費（投資的経費等））
ゼロベースの視点で全ての事業の費用対効果を検証し、エビデンスに基づく必要性和優先度を見極め、事業の取捨選択を行った上で要求
新規事業と増額要求は、新たな財源の確保、又は既存事業の廃止や見直しとセットで要求

令和9年度予算編成方針について

4 令和9年度 予算編成スケジュール

1 1月～12月 財政課によるヒアリング

1月中旬 市長査定

2月中旬 予算（案）の発表



財務管理部 財政課

TEL 0766-51-6616